



平成28年5月27日

18歳選挙権実施に向けて高校で大学生が主権者教育出前授業

この夏の参院選からスタートする18歳選挙権に関して、岡山大学大学院教育学研究科の桑原敏典教授が、高校生をはじめ、大学生の選挙や政治に対する関心を高めるため、高等学校、地域、大学の連携に基づく「主権者教育出前授業」を6月2日より、スタートさせます。

18歳選挙権で高校での主権者教育が注目されていますが、20歳未満の大学生も投票ができるようになりました。若者の政治に対する関心の低さが問題になっている中で、大学生も決して例外ではありません。18歳選挙権は、大学にとっても大きな問題です。本授業では、大学生が高校に出向き高校生に対する主権者教育を行うことで、高校生とともに自らも主権者としての資質や自覚を育んでいくことを目指しています。

■概要

昨年の公職選挙法改正後、18歳選挙権が注目されるようになりました。総務省と文部科学省が、高校生用の主権者教育副教材『私たちが拓く日本の未来』を作成し全国の高校生に配布するなど、国レベルの動きが急ピッチで進む一方で、岡山県においても知事を招いて「若者と政治シンポジウム」を昨年10月、本学で開催しました。桑原敏典教授は、副教材の作成に関わり、先のシンポジウムでも講演を行ったNPO法人 YouthCreate の原田謙介代表とともに、若者の政治に対する関心を高めるため、若者と選挙に関するワークショップの開催など様々な取り組みをしてきました。

今年度、その動きをさらに加速させ、岡山大学地域総合研究センターとも協同し、高校や地域と連携した高校生・大学生のための主権者教育を展開します。本事業では、下記に挙げた複数のプログラムを同時に展開していきますが、いずれも大学生自身が主権者教育を企画・運営することで、参加した高校生や市民とともに主権者としての意識を高めていくことを目指しています。

- 1) 倉敷中央高校など県内の高等学校を舞台として、高校生・大学生がともに学ぶ実践的体験的な主権者教育を展開（6月以降、順次開催）。
- 2) 市民と高校生・大学生が岡山の地域課題について語り合うトークイベント「ティーチイン岡山」を主権者教育と位置づけて実施。
- 3) NPOと大学の連携に基づく新授業「実践デモクラティック・ラーニング」(YouthCreateと岡山大学地域総合研究センターの岩淵泰助教が連携、桑原教授が協力して新授業を実施)。本事業の推進に当たっては、科学研究費補助金「地域づくりの担い手育成を目指した社会科主権者教育プログラムの開発・実践」(研究代表者：桑原敏典)の支援を受けています。



<お問い合わせ>

岡山大学大学院教育学研究科

副研究科長・教授 桑原敏典

(電話番号) 086-251-7736

(FAX番号) 086-251-7736